





2 学 期	1. 漢文に親しむ 【知識及び技能】 〔2〕我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 〔2〕古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 〔B1〕作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つこと。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 漢詩の構造を考える。 漢語を書き下し文に改める。 返り点の種類と用法を確認する。 原文を書き下し文に改め、現代語訳する。 再読文字について理解する。 ・教材 訓読のきまり、格言、再読文字 (学習ノート、デジタル教科書) その他関連資料 ・一人1台端末の活用 等 格言や漢詩、諸子百家について調べる。			【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔2〕 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B1〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・我が国の言語文化の特質や外国文化との関係を理解したり、古典を読むために必要な訓読のきまりなどを理解したり、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B1〕 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B1〕						6	
	詩歌の調べ 【知識及び技能】 〔2〕古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 〔A1〕自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 〔B1〕作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 漢詩、和歌、俳句、詩などの形式や特徴について確認する。 作品を音読し、リズムや言葉の響きを味わう。 作品の形式、作者、時代背景などを確認する。 作品の内容を理解し、表現の特色などをつかみ、鑑賞する。 それぞれの季節をテーマとした作品群から、その季節の詩歌もつ言語文化としての傾向や特徴を考える。 ・教材 春のうた／夏のうた／秋のうた／冬のうた (学習ノート、デジタル教科書) その他関連資料 ・一人1台端末の活用 等 作者や、他の作品についても調べ、創作する。			【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫したり、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈したりすることに向けた、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。〔B1〕 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。〔B1〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典を読むために必要なきまりや古典特有の表現を理解したり、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫したり、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈したりすることに向けた、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。〔B1〕							5
	5. ことばを生きる 【知識及び技能】 〔1〕文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 〔B1〕文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えること。 〔B1)2〕作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈すること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 作者や作品の背景を理解する。 全文を通読し、段落に分け、各段落の内容を読み取る。 叙述をもとに、筆者のとらえ方、考え方をつかむ。 筆者の考えを踏まえて、作品のテーマについて自分なりの考えを深める。 ・教材 「ホルベ神父」 (学習ノート、デジタル教科書) その他関連資料 ・一人1台端末の活用 等 作者や作品の舞台、時代背景について調べる。			【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。〔1)2〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。〔B1)1〕 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。〔B1)2〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章の意味が文脈の中で形成されることを理解したり、文章の内容や構成を叙述をもとに的確に捉えたり、作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえて内容を解釈したりすることに向けた、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。〔B1)1〕							4
定期考査												1
3 学 期	2. 現代に生きることば 【知識及び技能】 〔2〕古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 〔B1)1〕文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えること。 〔B1)1〕作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 故事成語について理解する。 本文を音読し、訓読のきまりを確認する。 語句の意味をとらえながら本文を読む。 故事成語の由来と意味をとらえる。 ・教材 五十歩百歩、借虎威 (学習ノート、デジタル教科書) その他関連資料 ・一人1台端末の活用 等 故事成語の由来や用法について調べる。			【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2)1〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B1)1〕 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B1)1〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典を読むために必要なきまりなどを理解したり、文章の種類を踏まえて作品の内容や構成を的確に捉えたり、作品に表れているもの見方や考え方を捉え内容を解釈したりすることに向けた、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。〔B1)1〕							5
	3. 古人に学ぶ 【知識及び技能】 〔2)1〕古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 〔B1)1〕作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 〔B1)1〕作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つこと。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 『論語』と孔子について理解する。 各章を音読し、現代語訳する。 『論語』についてまとめ、現代的意義や感じたことについてまとめる。 ・教材 論語 (学習ノート、デジタル教科書) その他関連資料 ・一人1台端末の活用 等 作者や作品の舞台、時代背景について調べる。			【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2)1〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。〔B1)1〕 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B1)1〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典を読むために必要なきまりなどを理解したり、作品に表れているもの見方や考え方をとらえ内容を解釈したり、作品の内容や解釈を踏まえ自分のもの見方、感じ方、考え方を深めたりすることに向けた、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。〔B1)1〕						5	
	6. 近代文学に触れる 【知識及び技能】 〔1)1〕我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすること。 〔2)1〕我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 〔B1)1〕文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 作者や作品の背景を理解する。 全文を通読し、構成を確認し、段落に分ける。 登場人物や場面の設定、時間の流れについて整理する。 比喩や象徴表現などの表現技法の効果や特色について考える。 『夢』をモチーフにした他の作品を紹介し、読書への興味を喚起する。 ・教材 『夢十夜』 (学習ノート、デジタル教科書) その他関連資料 ・一人1台端末の活用 等 作者や作品の舞台、時代背景について調べる。			【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをおとして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔1)1〕 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。〔2)1〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。〔B1)1〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしたり、読書の意義と効用を理解したり、文章の構成や展開、表現の仕方や特色を評価したりすることに向けた、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。〔2)1〕							4
定期考査												1
											合計	70